

地域社会のために、ひたむきに。
次の100年のために、着実に。



さはら 充 恭

発行所 〒448-8651 刈谷市豊田町1丁目1番地 トヨタ紡織労組内

1) 愛知県議会議員選挙で、細井しんじさんが初当選を果たされました。

4/9に投開票された愛知県議会選挙刈谷選挙区で、私達「市民クラブ」が支援してきた**細井しんじさん(デンソー労組出身)**が見事**初当選(トップ当選)**を果たされました。ご本人と関係各位の努力が結実した結果であり、心よりお祝い申し上げます。掲げるスローガン『**市民に寄り添う政策と「正直な」政治を、刈谷から愛知へ**』を胸に、愛知県議会でおおいに活躍される事を期待致します。私達「市民クラブ」6名もしっかりと連携してまいります。



2) 統一地方選(市町村議選)が行われました。

県議選後は、県内各市町村で市町村議選が行われ、多くの仲間が立候補されたので、激励に飛び回りました。候補者が乱立した市町では厳しい戦いとなりましたが、豊田市議選に出馬した塩谷まさき候補(写真 全トヨタ労連)をはじめ、ほぼ全員が当選されました。心よりお祝い申し上げます。

引き続き、各市町の仲間と連携しながら、皆様の声を市町から県、国まで届けてまいります。



3) 4/26 刈谷市議会臨時会が開催されました。

主な議案は補正予算(電力・ガス・食料品等価格高騰低所得世帯支援給付金支給事業、子育て世帯生活支援特別給付金支給事業)で、**全議案が可決**しました。いずれも**全額国庫負担**もしくは**負担予定**の事業です。資源価格高騰に伴う物価高等の影響を大きく受けているご家庭に対し、実効性ある支援となる事を期待します。

4) ★切実なご相談に対応～難病の方の生活用具補助制度を改訂して頂きました。

指定疾患により障がい者手帳を所持している方や、難病の方に、日常生活用具(人工内耳用電池・ストーマ装具、紙おむつなどの指定用具)の購入費を助成する制度があります。用具を業者等から購入する事前申請(購入前申請)をした上で補助を受けるのですが、ご家族が難病に罹患されたある市民の方から、「**用具の購入方法が事前申請にあてはまらず、公費負担が受けられない。**」との切実なご相談を頂きました。

お話を伺うとともに市と協議した結果、制度の隙間を埋める必要があるとの判断に至り、事前申請に加え、4/1より**★事後申請(購入後申請)制度を追加して頂きました。**事後申請が可能な自治体はまだ少数であり、**先進的な取り組み**となりました。

こうしたご相談にしっかり寄り添い、介護の実態に合致した制度改訂に努めてまいります

日常生活用具の購入後申請
4月から障害者向け日常生活用具のうち、一部対象用具の購入後申請が可能になります。
対象用具 紙おむつなど、人工内耳用電池、ストーマ装具(消化器系・尿路系)



かりや市民だより令和5年3月15日号に掲載されました。

5) ★さはらの提案が実現～指定避難所37か所に「応急給水場所」の看板を設置して頂きました。

昨年5月の明治用水頭首工の漏水事故は、農工業用水の重要性を痛感させられる事件でした。

では、大規模災害等で断水が生じた場合、**一般市民はどこで給水が受けられるか、果たして知っているでしょうか。**

災害時の応急給水は、市内37か所の指定避難所で受けられる予定ですが、**各施設にその表示はなく、ハザードマップにも記載はありません。**ネット検索すればわかりますが、ネットが寸断されればわかりませんし、ネット環境がないご家庭もありますので、災害規模によっては、多くの市民が水を求めて路頭をさまよう事態になりかねません。

そこで、昨年6月定例会の一般質問で、「**指定避難所に、給水所を示す看板を設置し、誰もがわかるよう周知すべき。**」と要望した結果、**★全37か所への設置が完了**しました。看板の多くは正門などの道路沿いに設置され、日常的に市民の目に入ると思います。

はからずも3/8には、水源浄水場の水質トラブルにより、市北部地域への水道水給水が一時的に停止し、水の大切さが再びクローズアップされたので、**これらの看板を設置して本当によかったと思います。**

災害時の給水は市民の生命線となります。引き続き、自然災害をはじめとする有事への備えと対応について提言してまいります。

